

平成28年度 第2回 学校評議員会

○日 時 平成29年3月9日（木） 午後6時00分～

○場 所 千早赤阪村立千早小吹台小学校 校長室

○出席者 学校評議員 大西市伽子・ 土井典子 ・ 米原尚子
校 長 當麻裕彦
教 頭 蔦 亜紀朗（進行）

○協議された意見の概略

①学校自己診断結果について

- 学校自己診断結果（保護者アンケート 児童アンケート 保護者自由記述）についての説明
- 家庭教育で必要だと思われることを最近では学校に依存していることが多いと感じる。どのように家庭に返していくのかが課題だと思う。
- 家庭教育が大変になってきている。親が夜遅くまで起きているために子供の就寝も遅くなりがちな家庭。朝ごはんを用意できていない家庭。登校する前に親が出勤して子供の登校時に不在になる家庭等々。家庭への支援を考えなければならないのではないか。
- 他市の事業として聞いたことがあるが、新1年生の家庭全戸を訪問して、保護者の話を聞いたり、相談にのったり、子どもの様子を聴き取りしたりする支援員を置いているところがある。こういうことを制度として作れば、家庭支援になり、家庭への働きかけができる。
- 宿題の量について
小さいうちに家庭でも勉強する習慣をしっかりとつけることが結局は、大人になって自立する力になるので大切である。
- 本校は、家でやるべきだと思うことも対応されて、頼れる学校になっている。先生方も大変だと思うが、このような学校が地域に存在することは安心できる。
- ボランティア活動も根付いている学校だからこそ、学校支援地域本部としての組織的な活動が出来てきている。

②卒業式・入学式について

- 3月16日（木）23名の卒業生 全校児童が出席する。
子供が本校で、6年生の時に、社会見学に行ったときに写真を撮ってくださって写真をと手紙を卒業生に送ってくださった方が、卒業式に来賓として来てくださったことが印象的に残っている。その方とは、子供が中学生になってもお会いしたことがある。とてもよい思い出として残っている。来賓に呼んでくださるといふ本校の卒業式はとても素晴らしい。
心の教育にハプニングはあっていいものだ。

③本年度の本校教育内容についての意見交流

●学校園評価報告書についての説明

本年度の学校教育目標についての具体的な取組に対する自己評価について説明

- このように文字としてまとめられていると大変分かりやすい。しかし、このようなものを作らなければならないことは大変だと思う。

④次年度の本校の教育内容について

●土曜参観としての防災行事について

●全校遠足について

●運動会について

●卒業遠足 臨海学舎 林間学舎について

⑤次年度に向けてのご意見やご提言

⑥その他